2026年11月5日
ノリタケ株式会社

【ご参考】 2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

【業績】
売上高 789億円（前年同期比 105億円増収） 営業利益 78.4億円（前年同期比 31.0億円増益）
USD 13.97円の円安、THB 0.37円の円安、CNY 3.30円の円安により、
売上高16.6億円増加、営業利益2.9億円増加
経常利益 100.0億円 （前年同期比 33.4億円増益）
親会社株主に帰属する中間純利益 78.8億円（前年同期比 24.6億円増益）

【連結の範囲】
連結会社 24社（1社増加：㈱大倉陶園） 持分法適用会社 2社（1社減少：㈱大倉陶園）

【特別損益】
特別利益 14.3億円：投資有価証券売却益 9.2億円、負ののれん発生益 5.0億円等
特別損失 6.9億円：減損損失 5.4億円、段階取得に係る差損 0.8億円等

【中間配当金】
中間配当 60円/株（前期中間80円/株※） 期末配当 60円/株 予定（前期期末100円/株※）
※前期中間及び前期期末については、2026年4月1日付の株式分割前を基準とした金額を記載しています。

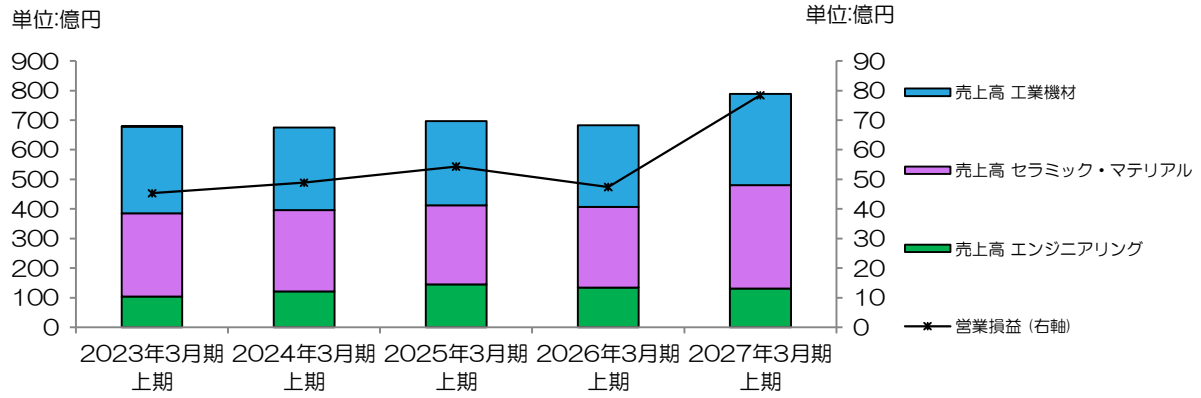
(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2023年3月期 上期実績	2024年3月期 上期実績	2025年3月期 上期実績	2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期実績	対前年同期比
売上高	工業機材	293	279	284	275	309	33
	ｾﾗﾐｯｸ・ﾏﾃﾘｱﾙ	281	275	269	273	349	76
	（内、食器）	(31)	(35)	(32)	(31)	(36)	(4)
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	104	121	145	135	131	△ 4
		678	676	698	683	789	105
営業利益	工業機材	14.8	9.6	10.4	4.7	18.6	13.9
	ｾﾗﾐｯｸ・ﾏﾃﾘｱﾙ	24.9	31.8	35.1	36.1	54.7	18.6
	（内、食器）	(△3.1)	(△0.4)	(△2.5)	(△2.5)	(△1.1)	(1.4)
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	5.6	7.5	9.0	6.6	5.0	△ 1.6
		45.3	48.9	54.4	47.4	78.4	31.0
(売上高営業利益率)		(6.7%)	(7.2%)	(7.8%)	(6.9%)	(9.9%)	-
経常利益		65.8	69.6	72.2	66.6	100.0	33.4
親会社株主に帰属する中間純利益		51.8	57.9	60.5	54.2	78.8	24.6
1株当たり中間純利益※		89.65円	100.14円	104.43円	96.34円	143.29円	-
1株当たり純資産※		2,163.14円	2,344.95円	2,573.45円	2,785.25円	3,186.65円	-
USD 為替レート		135.3円	142.6円	152.5円	146.1円	160.0円	-

※ 2023年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

売上高及び営業損益の推移（2023年3月期上期-2027年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

（単位：億円　四捨五入）

	2026年3月期 上期		2027年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	14	12	21	12
セラミック・マテリアル	27	10	17	11
（内、食器）	(2)	(2)	(1)	(2)
エンジニアリング	1	2	2	2
管理部門	24	4	7	5
合計	66	27	47	30

(3) 有利子負債

（単位：億円　四捨五入）

	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月	2026年9月	対前期比
有利子負債※	125	26	61	132	129	△ 2
現金及び預金	146	213	166	196	175	△ 21
ネット有利子負債	△ 22	△ 187	△ 105	△ 64	△ 46	18

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2027年3月期の予想

(1) 重点施策

【工業機材】

- オーダーメイド品事業では、市場の変化に迅速に対応するため、従来の製品別から市場別（成長領域別）に事業体制を再編しました。新たな体制のもと、徹底した収支改善（拡販・価格適正化・OEM活用・原価低減等）に取り組みます。汎用品事業では、国内及びタイ国の製造体制の再編と整備により競争力を高め、収益改善を図ります。
- エレクトロニクス分野を中心に成長領域向けの新商品の開発、販路の拡大、増産体制の確立に取り組むとともに、国内及び海外の販売拠点の整備、販売・製造システムの刷新を進めます。

【セラミック・マテリアル】

- 電子ペーストは、価格の適正化と製品ラインナップの拡充を進めるとともに、パワー半導体周辺材料への参入と量産化に取り組みます。電子部品材料は、主力の積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力の増強とともに、製造基盤の整備と原価低減による競争力の強化を図ります。
- 印刷技術を中核とした事業ポートフォリオの再編を行いました。製造拠点の集約を進めるなど、高収益で高効率な事業基盤を確立します。
- 成長領域（環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング）向け新商品の開発を進めます。
- 2026年４月１日付でセラミック・マテリアル事業に編入した食器事業は、体制のスリム化と事業運営の効率化を図ります。あわせて、セラミックス事業とのシナジー創出を通じて、収益改善に向けた構造改革を進めます。

【エンジニアリング】

- 主力のエネルギー、エレクトロニクス分野では、開発、販売、製造、品質管理体制の整備と、アフターサービス（メンテナンス・消耗品販売等）体制の確立により、シェアの拡大を図ります。
- 新しい分野（医薬、半導体、サーキュラーエコノミー）への参入と市場の開拓、成長領域（環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング）での新用途・新商品の開発を進めます。

【設備投資金額】

設備投資　110億円　　減価償却費　60億円

(2) 業績予想

（単位：億円　四捨五入）

		2026年3月期	2027年3月期　業績予想			
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	564	309	302	610	46
	セラミック・マテリアル	568	349	331	680	112
	（内、食器）	(67)	(36)	(40)	(75)	(8)
	エンジニアリング	298	131	179	310	12
		1,429	789	811	1,600	171
営業利益	工業機材	14.9	19	9	28	13
	セラミック・マテリアル	78.7	55	45	100	21
	（内、食器）	(△ 3.6)	(△ 1)	(1)	(0)	(4)
	エンジニアリング	17.6	5	12	17	△ 1
		111.1	78	67	145	34
経常利益		151.9	100	80	180	28
親会社株主に帰属する当期純利益		141.8	79	101	180	38

（下期想定為替レート　USD=150円）